危害リスク確認シート

相談・通報のあった高齢者：氏名（　　）性別（　　）
年齢（　　）　要介護度（　　）記載日時：　　年　　月　　日
記入者（　　）

①、②、⑥については、該当する項目があればそれを○で囲み、[　]に○を入れる。それ以外の項目については、a[　]、b[　]、c[　]のいずれかに○印。【対応の目安】については□に✓を入れる。【対応の目安】はあくまでも目安。リスクやストレングスを含め総合的に判断し、安全探しシートの<当面の対応方針>に、現時点での最終判断を記述する。

★危害状況の確認

レッド

① すでに重大な結果が生じていますか？
[　] **頭部外傷（血腫　骨折）　腹部外傷　意識混濁　重度の褥そう　重い脱水症状　脱水症状の繰り返し　栄養失調　全身衰弱　強い自殺念慮　その他（　　）**

【対応の目安】
□ ①に○がつけば、保護を前提とした対応。

② 重大な結果が生じるおそれの強い以下のような状態が見られますか？
[　] **頭部打撲　顔面打撲・腫脹　不自然な内出血　やけど　刺し傷　きわめて非衛生的な状態　怯え　脱水症状　著しい体重減少　その他（　　）**

③ 被虐待者は意思疎通が可能ですか？
a[　]できない　b[　]できる　c[　]不明

④ 当事者が保護を求めていますか？
a[　]被虐待者が保護を求めている　b[　]被虐待者が保護を求めていない　c[　]不明

⑤ ②に示すような状態がこれまでも見られましたか？
a[　] 繰り返し見られた　ときどき見られた　b[　] まれに見られた　まったくなかった　c[　]不明

【対応の目安】
□ ②に○がつき③のａもしくはｃに○がつけば、保護を前提とした対応。
□ ②に○がつき③のｂと④のａに○がつけば、保護を前提とした対応。
□ ②に○がつき、③と④のｂに○がついても、⑤のａもしくはｃに○がつけば、リスク要因と安全探しシートの結果を考慮の上、保護もしくは集中的援助。
□ ②に○がつき、③と④および⑤のｂに○がつけば、リスク要因と安全探しシートの結果および養護者の状況・意向等を考慮の上、保護もしくは集中的援助。

イエロー

⑥ 重大な結果につながっていくおそれのある以下のような状態が見られますか？
[　] **打撲痕　擦過傷　非衛生状態　暴言/威圧/無視/行動制限等による怯え・苦痛・萎縮・強い不安等　生活費・預金等の搾取による生活上の困難　その他（　　）**

⑦ 被虐待者は意思疎通が可能ですか？
a[　]できない　b[　]できる　c[　]不明

⑧ 当事者が保護を求めていますか？
a[　]被虐待者が保護を求めている　b[　]被虐待者が保護を求めていない　c[　]不明

⑨ ⑥に示すような状態がこれまでも見られましたか？
a[　] 繰り返し見られた　ときどき見られた　b[　] まれに見られた　まったくなかった　c[　]不明

【対応の目安】
□ ⑥に○がつき⑦のａもしくはｃに○が、あるいは、⑨のａもしくはｃに○がつけば、リスク要因と安全探しシートの結果を考慮の上、保護もしくは集中的援助。
□ ⑥に○がつき⑦のｂと⑧のａに○がつけば、リスク要因と安全探しシートの結果を考慮の上、保護もしくは集中的援助。
□ ⑥に○がつき⑦と⑧のｂに○がついているが、⑨のａもしくはｃに○がつけば、基本的に集中的援助。ただし、危害状態の程度、リスク要因と安全探しシートの結果、養護者の状況・意向等を考慮の上、見守り体制の整備もあり。
□ ⑥に○がつき⑦と⑧および⑨のｂに○がつけば、危害状態の程度、被虐待者の健康状況、リスク要因と安全探しシートの結果、養護者の状況・意向等を考慮の上、集中的援助もしくは見守り体制の整備。

<起きている／起きていた危害（ハームステイトメント）>

(1)いつ、どこで、(2)誰が、誰に、(3)どのようにして、どのようなことを行ったか／行っているか、(4)その結果、何が起きているか。

©AAA（安心づくり安全探しアプローチ研究会）

★リスク（状況を複雑化する要因）の確認

① 虐待を受けている高齢者の状態

[ ]認知症程度：Ⅰ　Ⅱa　Ⅱb　Ⅲa　Ⅲb　Ⅳ　M
[ ]行動上の問題：徘徊　暴力行為　昼夜逆転　不穏興奮　失禁　その他（　　）
[ ]寝たきり度：　J1　J2　A1　A2　B1　B2　C1　C2
[ ]性格的問題（偏り）：　衝動的　攻撃的　粘着質　依存的　その他（　　）
[ ]精神疾患・依存症（　　）
[ ]その他（　　）

② 虐待をしている養護者の状態

[ ]精神的不安定・判断力の低下
[ ]重い介護負担感
[ ]介護疲れ
[ ]不眠・睡眠不足
[ ]長期に渡る介護（　　年）
[ ]認知症に対する非現実的な認識
[ ]介護に関する知識・技術不足
[ ]被虐待者への拒否的感情や態度
[ ]虐待者が暴力の被害者（　　）
[ ]性格的問題（偏り）：　衝動的　攻撃的　未熟性　支配的　依存的　その他（　　）
[ ]障害・疾患：　知的障害　精神疾患・依存症（　　）　未受診　その他（　　）
[ ]経済的問題：　低所得　失業　借金　被虐待者への経済的依存　その他（　　）
[ ]虐待の認識：　虐待の自覚なし　認めたがらない
[ ]援助者との接触回避（　　）
[ ]その他（　　）

③ 家族状況

[ ]二人のみの暮らし（　　）
[ ]副介護者なし
[ ]サービス利用なし／少ない（　　）
[ ]長期にわたる虐待者・被虐待者間の不和
[ ]虐待者・被虐待者の共依存関係
[ ]その他の家族・親族の無関心　　）
[ ]住環境の悪さ：狭い　被虐待者の居室なし　非衛生的　その他（　　）
[ ]その他（　　）

＜これから起こるかもしれない危険（デインジャーステイトメント）＞

（1）いつ、どこで、（2）誰が、誰に、（3）どのようにして、どのようなことを行うおそれがあり、（4）その結果、何が起きると考えられるか。

注：**集中的援助**：複数の訪問者でモニタリングを強化。養護者との関係性を深め、公私のサービス・資源の利用拡大を図る。
見守り体制の整備：最低限、現在のサービス利用を継続、複数の訪問者でモニタリングを強化。状況変化に応じて対応できるよう関係者間で方向性・対応を共有。

©AAA（安心づくり安全探しアプローチ研究会）